

二〇一三年度

## 日本近代文学会 秋季大会案内

日時 一〇月二六日(土)・二七日(日)

会場 関西大学千里山キャンパス 第一学舎

(※二〇一三年度関西支部秋季大会は本大会と合同開催のかたちをとります)

二六日(土) 午後二時より

### 《開会の辞》

大橋 毅彦

〔講演〕 福島原発事故と文学

ノーマ フィールド

(コメンテーター) 川口 隆行・竹内栄美子

〔懇親会〕 レストラン法文坂 (以文館一階)

(※二六日(土) 一二時三〇分より、評議員会を開催する予定です)

二七日(日) 午前九時三〇分より

〔研究発表〕 午前九時三〇分〜午後一時 (※第一会場のみ、午前一〇時一五分〜)

第一会場〔パネル発表〕 和田芳英・加藤百合・源 貴志・宮越 勉・大東和重

第二会場〔個人発表〕 上戸理恵

〔パネル発表〕 岩川ありさ・陳晨・Emanuela Costa・飯田祐子

第三会場〔個人発表〕 ブルナ ルカーシュ・山本歩・権藤愛順・小田切璃紗・辛西永

第四会場〔個人発表〕 伊藤博・尾崎名津子・福岡弘彬・橋本あゆみ・杉本未来

第五会場〔個人発表〕 張ユリ・吉田恵理・大川内夏樹・増田周子・大木志門

※各発表の題目、要旨、会場となる教室は、日本近代文学会公式ホームページ (<http://anjis.web.fc2.com/>) に掲載しますのでご覧下さい。

〔研究発表〕 午後二時〜午後五時五〇分

### 関西支部特別企画

拡張する〈作家／作者〉イメージと実証性のありか

「こころ」論争における〈作者〉の問題

内藤 由直

テキスト論者が個人学会にこだわる理由

田口 律男

書き手と作家の境界

——若き女性の教養誌『新女苑』をめぐる——

小平麻衣子

作者と訳者の境界で

野崎 欽

### 《閉会の辞》

日高 昭二

〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-1-6 井上ビル6F B号室

日本近代文学会事務局

※会員以外の参加自由